

秋厚労ニュース

同じ 思いの仲間見つけた

7月14日(土)～15日(日) あきた芸術村わらび座にて第37回新入組合員学習と交流のつどいが開かれ、133名が参加しました。

新入組合員学習と交流のつどい

短時間で打ち解け積極的に発言

グループワークは誕生月ごとに行いました。グループ内で自己紹介から始め、チームリーダーなど役割を決めます。初めは緊張した表情の参加者が多く見受けられました。短時間で打ち解け、積極的に発言する姿が印象的でした。

グループワークは誕生月ごとに行いました。グループ内で自己紹介から始め、チームリーダーなど役割を決めます。初めは緊張した表情の参加者が多く見受けられました。短時間で打ち解け、積極的に発言する姿が印象的でした。

交流会「頑張れ」コール沸き起こる

入職して3ヶ月が経って感じる「プラス面」と「マイナス面」を付箋に書き出します。書いたものをチーム内で発表し、整理しながら模造紙に貼り付けます。グループ

夕食はお膳を囲み、後半は交流会を行いました。座っていた席で身体を180度回転し、背中合わせだった他の支部の人たちと6～8人のグループを作ります。最大3支部が混ざったグループで交流会がスタート。

というゲームです。司会の「用意、スタート」の声とともに、自然にチーム内からは「頑張れ、頑張れ」「いけ、いけ」といった声掛けが沸き起こり、支部を越えて交流が深まりました。

秋田県内の市町村名を使った「ご当地ビンゴ」では開始早々にリーチが続出し、次々どの市町村が呼ばれるかドキドキワクワク。大いに盛り上がりました。次にバードウォッチングなどに使用されるカウンターを使った「カウントアップ」。時間内にカウンターをカチカチ連打し、合計の多かったチームの勝ち

交流会のあとの2次会も盛り上がり、笑い声が絶えませんでした。

患者から「ありがとう」嬉しかった

2日目は、グループワークの発表です。「できることが増えてきた」「やりがいを感じる」「患者・家族からの『ありがとう』が嬉しかった」等のプラス面や「覚えやすいことが多い」「職場に同期がない」「等のマイナス面が紹介されました。発表を聞いて必ず誰かが感想を言

います。「悩んでいるのは自分だけじゃないと知って安心した」「同じ思いで働いている仲間がいると思うと自分も頑張ろうと思う」など積極的に発言する姿が見られました。

最後にスライドショーで2日間を振り返り、つどいを締めくくりました。

